

全国学力・学習状況調査結果報告（善防中学校）

平成30年4月17日（火）に実施された「平成30年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要を報告します。

1 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行われています。そのねらいは、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上めざすものです。

2 学力に関する状況について

— 「教科に関する調査」結果から —

	全国	県	加西市の概要
国語 A (知識)	76	77	全国平均と比較して、 <u>加西市内の中学生</u> は、「数学 A」は「高い」、「国語 A」「国語 B」「数学 B」「理科」は、「やや高い」数値を示しています。
国語 B (活用)	61	61	
数学 A (知識)	66	69	
数学 B (活用)	47	48	
理科	66	67	

※ 全国平均との差が「±0.0~1.0」を「同程度」、「±1.1~3.0」を「やや高い・やや低い」、「±3.1~」を「高い・低い」としています。

【本校の学力】

(1) 国語

全国平均と比較して、「国語 A」「国語 B」とともに「低い」数値を示しています。

学習指導要領の4つの領域、つまり「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について見ても、「国語 A」「国語 B」とともに全ての領域で「低い」数値を示しています。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の2つです。

- ① 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える。
- ② 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える。

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の5つです。

- ① 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。
- ② 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く。
- ③ 文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える。
- ④ 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する。
- ⑤ 行書の基本的な書き方を理解して書く。



(2) 数学

全国平均と比較して、「数学 A」「数学 B」とともに「低い」数値を示しています。

学習指導要領の4つの領域について見ますと、「数と式」については「やや低い」数値を示していますが、「図形」「関数」「資料の活用」については、「低い」という結果でした。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の2つです。

- ① 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる。
- ② 絶対値の意味を理解している。

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の5つです。

- ① 計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる。
- ② 事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。
- ③ 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している。
- ④ 一次関数 $y=ax+b$ について、 x の値の増加に伴う y の増加量を求めることができる。
- ⑤ 証明の必要性と意味を理解している。

(1) 理科

全国平均と比較して、「低い」数値を示しています。

学習指導要領の「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」「地学的領域」について見ても、全ての領域で「低い」数値を示しています。

出題の趣旨から特に正解率が良好だったのは以下の3つです。

- ① ガスバーナーの空気量を調整する場所を指摘できる。
- ② 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる。
- ③ 光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる。

出題の趣旨から特に課題があったのは以下の4つです。

- ① 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる。
- ② 神経系の働きについての知識を身につけている。
- ③ 反応時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる。
- ④ 太平洋高気圧の特徴についての知識を身につけている。

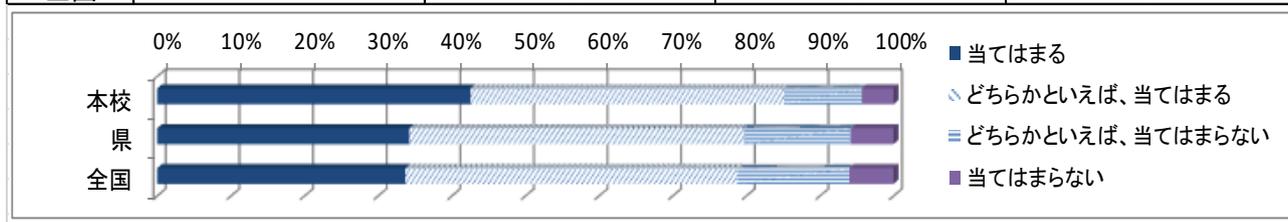


3 生活習慣や学習習慣について

生徒たちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となります。そこで、本校生徒の生活習慣や学習習慣のうち、特徴ある項目について全国・県と比較しました。

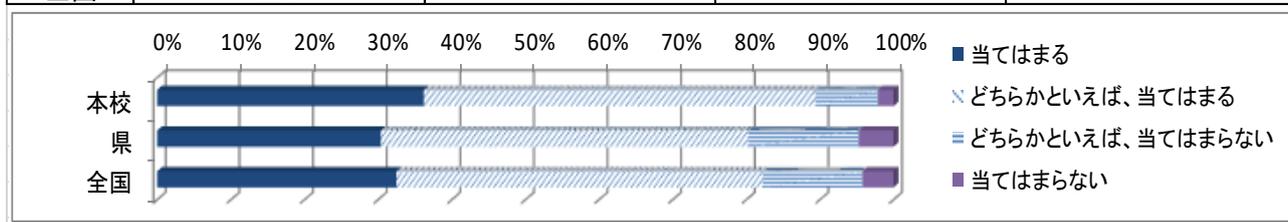
① 自分には、よいところがあると思いますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	42.6	42.6	10.6	4.3
県	34.2	45.4	14.5	5.8
全国	33.7	45.1	15.2	6.0



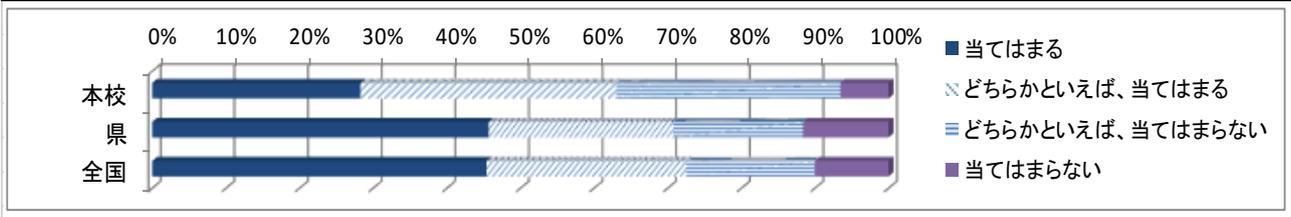
② 先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	36.2	53.2	8.5	2.1
県	30.3	49.8	15.0	4.7
全国	32.5	49.7	13.6	4.2



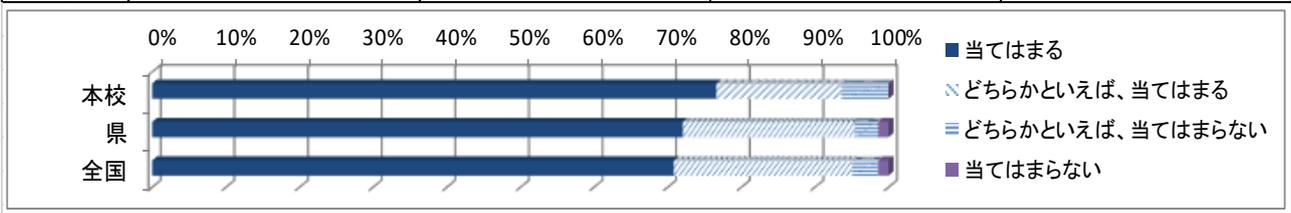
③ 将来の夢や目標を持っていますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	27.7	34.0	29.8	6.4
県	45.6	25.0	17.6	11.6
全国	45.3	27.1	17.4	10.0



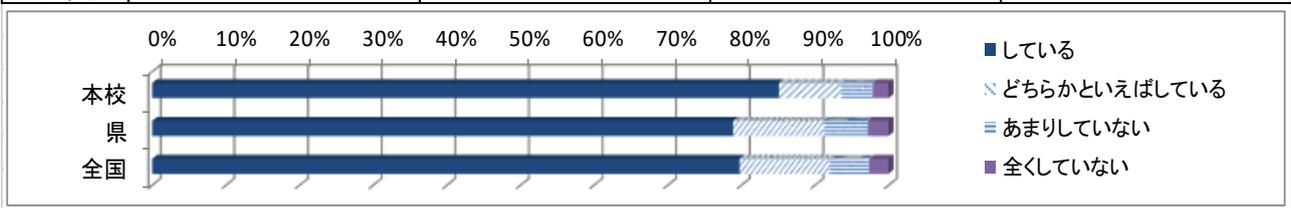
④ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	76.6	17.0	6.4	0.0
県	72.0	23.3	3.2	1.4
全国	70.7	24.2	3.5	1.4



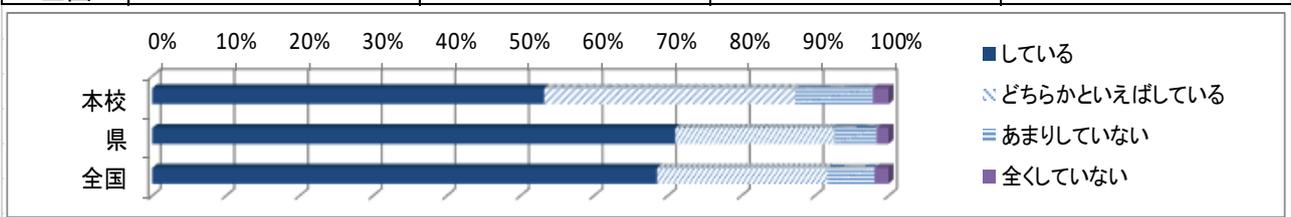
⑤ 朝食を毎日食べていますか

	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
本校	85.1	8.5	4.3	2.1
県	78.9	12.4	5.9	2.8
全国	79.7	12.2	5.4	2.6



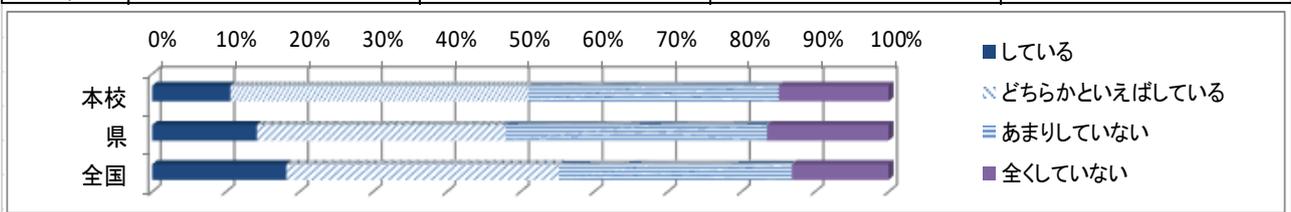
⑥ 家で、学校の宿題をしますか

	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
本校	53.2	34.0	10.6	2.1
県	70.9	21.5	5.8	1.6
全国	68.5	23.1	6.4	1.9



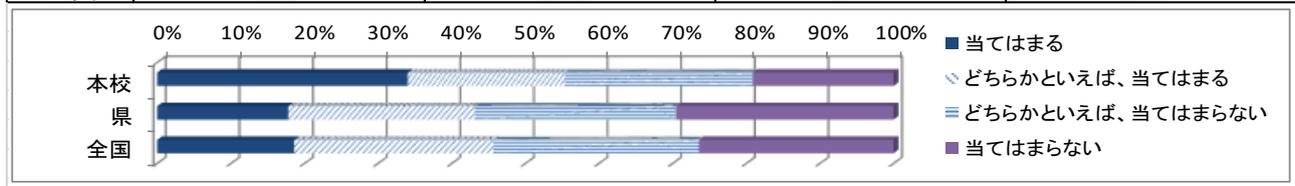
⑦ 家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。

	している	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
本校	10.6	40.4	34.0	14.9
県	14.2	33.8	35.5	16.5
全国	18.2	37.0	31.6	13.1



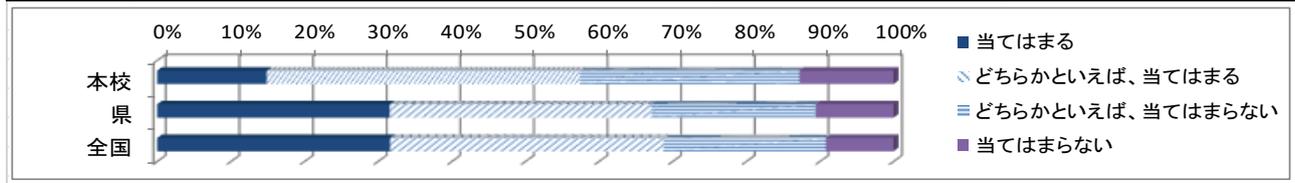
⑧ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	34.0	21.3	25.5	19.1
県	17.8	25.3	27.3	29.5
全国	18.6	27.0	27.9	26.4



⑨ 1・2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会がありましたか

	当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
本校	14.9	42.6	29.8	12.8
県	31.6	35.6	22.3	10.6
全国	31.6	37.1	22.0	9.2



4 考 察

本校の生徒は、全国・県と比較して、自己肯定感が高く、人の役に立つ人間になりたいと思っている生徒が多くいます。一方で、将来の夢や目標がなく、学習の意義を理解していないという生徒が多い状況が見られます。宿題や予習・復習ができていない生徒が多いのは、それらが起因していると考えられます。また、地域の行事に参加している生徒の割合が多いものの、学校の取り組みとして、授業や課外活動で地域と関わる機会が少ないのも課題に挙げられます。

国語においては、1・2年時での「朝の読書」の取り組みにより、「読むこと」に慣れ、文章の中での言葉の読みや意味、大まかな内容を捉えられるようになってきました。また、字数に応じて自分の意見をまとめることもできるようになっています。しかし、読み手に的確に伝わる書き方がまだ十分とはいえません。今後は内容や構成に重点をおき、自分で読み直す時間をとったり、友だち同士でアドバイスしあう時間をとったりすることで、推敲する力を高めたいと考えています。

数学においては、グループ学習を取り入れ、生徒が主体的に学ぶ取り組みを行っています。その際には、自己解決しようとする姿や、自分の考えを周りに伝えようとする姿が見られます。その一方で、学習が形だけになりがちで、自分の力として身につくような学習になっていない生徒が多く見られます。また、基礎学力が低いために、数学の良さや有用性を感じられない生徒も多いことから、今後は基礎的な問題を多く解くことで、自信や達成感をつけさせ、数学に対して前向きに取り組む生徒を増やしていきたいと考えています。

理科においては、興味関心を高めることで苦手意識をなくし、生徒が主体的に取り組めるようにしています。生徒たちも実験観察をとおして、どの単位においても積極的に取り組み、結果、考察から発見をすることができています。しかし、実験をとおして得たものから科学的に考えることや知識の深い理解に至る生徒は少なく、実験がただの体験活動だけになっているのが課題であると考えています。生徒たちの積極的に取り組む姿勢を大切に、実験で得たものを今行っている小テストやグループ活動につなげることで、知識の整理を行い、より発展的な学びにつなげたいと考えています。

5 今後の取り組みについて

- ・「キャリア教育」の視点を持ち、生徒に「学ぶ意義」を理解させ、「学ぶ意欲」をさらに高める。
- ・基礎基本の定着を図るため、スモールステップによる学習と問題の振り返りを意識した指導を行う。
- ・「読書活動」をさらに推進するとともに、授業における「言語活動」の充実を図る。
- ・「わかる授業」「生徒の主体的な学習活動」を目指し、教師の授業力向上に努める。
- ・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用により、生徒の基礎学力の定着や学習意欲の喚起に努める。
- ・家庭学習の充実を図る。
- ・地域と連携した教育活動の充実を図り、生徒に地域社会で生きる意識を醸成する。